

地域課題解決策探る

釧路でノー
マップス 住みたい街、学生ら提言



白川氏（左）がモデレーターを務め行われたカンファレンスセッション

釧路、根室地域の課題解決策を探索する場を
設け、人と人がつながりワクワクする地域を描
くことを目的とした「NoMaps（ノーマッ
プス）釧路・根室2025」（実行委主催・委
員長、草刈敏夫釧路工業技術センター長）が20
日、釧路フィッシャーマンズワーフMOO2階
の港まちベース946BANYAで始まり、五
つのカンファレンスセッションが行われた。

ノーマップスは201
6年に初めて開催され、
「釧路・根室」は19年か
ら行われ今年で7回目。
今年度は「未来へつなぐ
医・食・住」がテーマ。
この日会場には約50人が
集まり、オンライン参加
者は40人を超えた。

セッションのうち「学
生が住みたい街」を
テーマとしたカンファレ
ンスでは、釧路公立大学
学長の白川欽哉氏がモデ
レーターを務め、パネラ
ーで一般社団法人学校地
域協働センターラポール

アなどを語ってほしい」
と述べた。
幸村氏は同法人の活動
内容を説明し、「街中に
学生を住まわせたらどう
か。各大学の先生方と地
域まるごとキャンパスと
いうことをやっていきた
い」と意見が一致してい
る」と語った。鈴木氏は
「個人、地域で働く人に
つなげてもらったのがこ
の釧路」と述べ、山田氏
は「学生が住みたい街
の定義でいうと、学生
ではなく大人に課されて

いる」と提言した。
12月には地元の高校生
によるビジネスコンペテ
ィションが予定されてい
る。
（小西靖）